



医療法人財団
愛泉会

愛知国際病院 | 老人保健施設 愛泉館

みなみやま

2023年 冬
vol.107

特集

感染症と向き合い続けた 3年が教えてくれたこと

医療と介護の相・談・室

医療 ホスピス入院相談

介護 介護老人保健施設への入所



インフォメーション
Information

愛知国際病院

フレイル講座を開催しました

2022年11月19日と26日に、愛知国際病院にてフレイル講座を行いました。「フレイルとは?」「介護予防の食事」「効果的な運動」「社会参加」について2日間で約40名の方が学びました。チェックシートや運動などもあり、和気あいあいとした雰囲気のなか、参加者からは「自分自身に役に立つ講座だった」「食事を見直すきっかけになった」「教えてもらった運動を継続したい」など前向きな感想をいただきました。



次回の市民ミニ講座



日進市社会福祉協議会さんが「社会参加」の大切さや始め方、関わり方について楽しく講義♪

足・腰・食事 セルフメンテナンス講座

3/3金・13月

好評につき、第2弾!今回はフレイル予防に効果的な運動を理学療法士と行います。管理栄養士の食事アドバイスもあります!

【日時】3月3日(金)、13日(月) 14:30~15:30 【場所】愛知国際病院ホスピス研修室

【定員】各20名(要申込、先着順) 【参加費】無料(プチお土産つき)

お問い合わせ ☎0561-73-7721(病院代表) ✉f.moroishi@aisen-kai.jp(担当:諸石)

表紙のイラスト

感動を伝えるイラストを目指して

表紙のイラスト制作は、絵の中にひとつのストーリーを感じさせるイラストを描き、たくさんの人にみてもらうことができる経験となりました。自分の思いやその場の雰囲気をイラストで表現し伝えることで、見た人に影響を与えられるようなイラストレーターの姿を改めて感じています。これからも自分の個性を活かしながら、人を感動させるイラストを目指していろいろな工夫に挑戦していきたいです。

名古屋学芸大学 メディア造形学部 3年 谷口 彩弥さん



賛助会員募集のお知らせ アメニティーの充実(施設環境、造園、園芸)、ホスピスでの諸行事、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。(ご入会いただいた方には年に4回広報誌をお送りいたします)下記の口座に会費をお振り込みください。

【①郵便局窓口利用】郵便振替口座 00890-5-3757 【②ATMおよびインターネット振込利用】ゆうちょ銀行(9900) 店番089 当座0003757
【①②口座名義】愛知国際病院ホスピス賛助会 【一口】1,000円(おいくらでも結構ですが、できましたら、5口以上でお願いいたします)

編集後記 1年の計、みなさんはどのように立てましたか?わたしは初詣の「願掛け」よりも「おみくじ」のお告げ重視。なんだか他力本願な気がしなくもありませんが、運にまかせて選んだ半紙に書かれた小難しい日本語は、お正月の清々しさと相まってとても有難い内容に思えるのです。2023年のみなさまの物語が、笑顔のあふれるものでありますように。「あたらしき 年の初めに 思ふどち い群れて居れば 嬉しくもあるか [万葉集/道祖王より]」(諸石)

●これまでお寄せいただいているご意見・ご感想、大変感謝いたしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



【医療法人財団 愛泉会】

■愛知国際病院 ■老人保健施設 愛泉館 ■指定居宅介護支援事業所 愛泉館 ■日進市東部地域包括支援センター
■訪問看護ステーション えまい ■住宅型有料老人ホーム カナン 【関連施設】AHI(アジア保健研修所)

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31 Tel.0561-73-7721(代) Fax.0561-73-7728 <http://aisen-kai.jp/>

医療法人財団 愛泉会 広報誌「みなみやま107号」 発行日:2023年1月1日 発行人:井手宏 編集発行:法人だより委員会 編集長:近藤正嗣

※無断で複写、複製、転載することを禁じます。

お問い合わせ
【受付時間】月~土曜 8:30~17:30

医療 地域連携室
について ☎0561-73-9179

介護 日進市東部地域包括支援センター
について ☎0561-74-1300



新型コロナウイルス対策本部の立ち上げ 「いずれ日本中に広がる」

川口 クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号での感染が報道されたのが3年前の冬、「いずれ日本中に広がる」と予測した理事長の井手先生からの提案もあり「新型コロナウイルス対策本部」を立ち上げ、法人全体での取り組みが始まりました。早い決断だったと思います。

太田 ウイルスをブロックすれば飛沫感染は防げると分かっていたから、私たち職員は日々の体調報告、黙食、対面や密の回避、外食・外出の自粛など、でき

ることを着実に実行しました。渡航外来担当でもある川口先生が感染症に詳しいことも心強かった。

川口 新型コロナウイルスが国内に持ち込まれた際、愛知県下で32施設ある重点医療機関(※)として感染者の受け入れ準備をした経緯が当院にはあります。以来、感染対策の研修会を行ったり、マスクを備蓄したり

と、感染症対策の下地があればこそ職員も冷静に行動できました。

太田 感染が疑われる患者さんを受け入れない医療機関がある時期でも、当院が診察体制を貫けたのも職員のみなさんのおかげです。

川口 医事課やリハビリのスタッフたちも受付前に交代で立つて、風邪症状や微熱のある方を隔離スペースに誘導するなど、外来が通常どおり機能するよう頑張ってくれました。

コロナ専用病棟

「やらない」選択肢はない

太田 春頃になると愛知県でも感染者が出てきました。大きな病院には重症患者が殺到し、軽症で重症化リスクのある方は入院したくても行き場がほとんどありませんでした。

川口 感染が疑われる人のCT画像に肺炎の影が確認され、自宅待機では不安な患者さんも多かった。そんなとき、県から「コロナの入院患者を受け入

れてほしい」と相談され、院長は即座に「やります」と言われました。迷いなどはなかったですか？

太田 医療を提供し続けることが私たちの役目ですから「やらない」という選択肢はない。それに当院の患者さんや関連施設の入所者さんが感染したときに備えて、コロナ専用病棟はつくるべきとも考えていました。

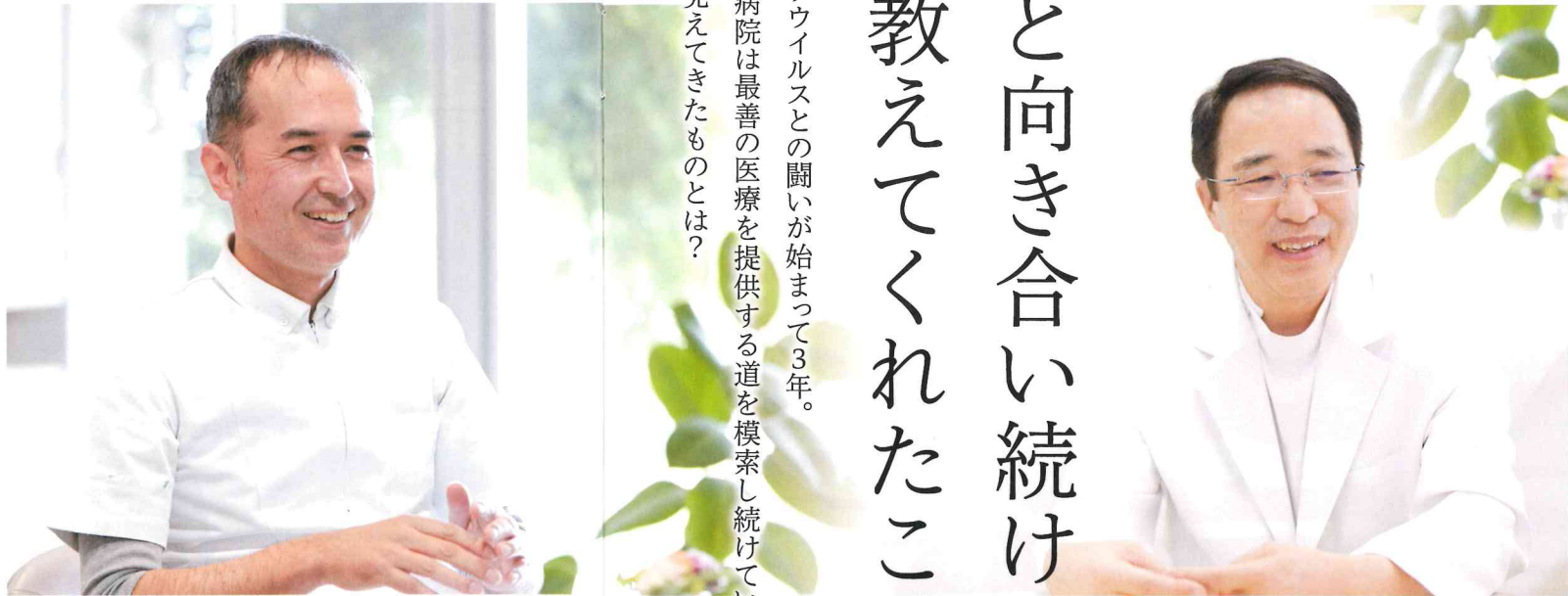
川口 3階病棟を封鎖し、必要設備を整えてコロナ専用病棟を完成させたのが8月。「入院できて安心です」と患者さんやご家族に言われたときは、やってよかったと思いましたね。

太田 その後、保健所から感染者の重症度評価や入院判断など頻繁に依頼を受けるようになりました。

川口 はい。小さいお子さんがいて入院できない方には、酸素濃縮装置を貸し出して自宅療養をサポートするなど、できる限りのことをしようと必死でした。冬になるとPCR検査に匹敵するNEAR法という検査を院内で行う体制を整え、検査結果をすぐお伝えできるようになったのは大きな変化です。

感染症と向き合い続けた 3年が教えてくれたこと

新型コロナウイルスとの闘いが始まって3年。愛知国際病院は最善の医療を提供する道を模索し続けています。その先に見えてきたものとは？



院長 太田 信吉

新たなパンデミックに向けて 人として、医療人として

川口 コロナが終息しても5～10年周期で何らかの感染症流行(パンデミック)が起こるといわれています。

太田 感染症対策の基本はウイルスを防御することに変わりないので恐れることはありません。ただ、この3年を通じて、人として、医療人として、何が大

切か改めて見つめ直すきっかけになりました。例えばホスピスで、感染対策を理由に社会的精神的ケアまで中止するべきではありません。最善の医療とは何か、常に目の前の患者さ

んと向き合いながら考えていく大切さを改めて感じました。

川口 私も同じ気持ちです。高熱が出てコロナを疑って検査を受ける患者さんに対して「陰性です。コロナではありませんよ。」というだけではなく、本来なら対応していたように発熱などの症状の原因を探るためにきちんと診察する。どんな状況下でも、患者さんに薬だけでなく安心も処方できる医師や病院でありたいと願っています。

太田 これからコロナの新たな波、あるいは新たな感染症がやってきても、常に患者さんに寄り添っていきましよう。

3年の軌跡

…愛知国際病院の動き

2019年

12月 中国武漢市が感染事例を初めて発表

2020年

1月 第1波(～5月)

WHO「国際的な緊急事態」を宣言

2月 クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号で感染が発生

新型コロナウイルス対策本部を立ち上げ



手作りフェイスシールド

4月 全都道府県で緊急事態宣言

発熱外来設置

7月 第2波(～8月)

オリンピック延期

8月 3階フロアをコロナ専用病棟として稼働開始

11月 第3波(～2021年3月)

2021年

1月 緊急事態宣言

発熱外来専用診察室を新設



NEAR法検査機器導入

3月 第4波(～6月)／アルファ株

コロナワクチン接種開始(医療者)

4月 まん延防止等重点措置が大阪、兵庫、宮城に適用

緊急事態宣言を一部地区に適用

6月 コロナワクチン接種開始(市民接種)



7月 第5波(～9月)

緊急事態宣言を一部地区に適用

東京オリンピック開催／デルタ株

8月 抗ウイルス薬レムデシビル処方開始

中和抗体薬ロナプリーブ処方開始

2022年

1月 第6波(～3月)／デルタ株

まん延防止等重点措置が一部地区に適用

抗ウイルス内服薬モルヌピラビルを

発熱外来で処方開始

6月 外国人観光客の受け入れ再開

7月 第7波(～11月)／オミクロン株

8月 一般病棟で陽性者発生

(入院受入停止10日間)

10月 コロナ専用病棟を一時休止

11月 抗ウイルス薬パキロビッド処方開始

12月 コロナ専用病棟再稼働

※重点医療機関…新たな感染症の発生時に、県等の要請を受けて当該患者または疑い患者を受け入れる体制を有している医療機関

医療を提供し続けるために

37.5

発熱外来専用診察室

2021年1月
稼働

予約制+3つの検査方法で安心を

高性能空気フィルターを設置し、消毒・換気など感染対策を徹底した専用診察室。微量のウイルスでも検出しやすい検査「PCR法」「NEAR法」、簡易的な「抗原定性検査」の3つの検査方法を採用しています。一般の外来とは動線や入口を完全に分け、専用駐車場でお待ちいただきます。

当院で可能な3つの検査方法

PCR法

微量のウイルスでも検出しやすい核酸検出検査。外部委託のため結果まで1~3日程度必要

NEAR法

PCR法と同じ核酸検出検査。当院で判断ができ、短時間で検査結果が得られる。保険適応

抗原定性検査

ウイルスが体内に存在するかを簡便かつ迅速に調べる検査

来院前に必ずお電話ください

TEL 0561-73-7721

※当日のご予約のみの受付。午前中で受付終了となる場合があります

【受付時間】月~土曜 8:30~15:00

インフェクションコントロールドクター(※)による専門的な診断が可能

すでに他院で陽性/陰性の診断がついていても、容態が変化することがあります。そのような患者さんに対して、入院の必要性や適切な薬の処方、コロナ以外の病気の可能性などについて採血やCTも併用して診断を行います。感染者数が増加する状況においては特に「重症度診断」の役割は大変大きく、他の医療機関とも連携しながら必要な医療を提供する体制を継続できました。

待機期間は終わったけれど、
微熱が続く

自己検査では陰性だったけど、
持病があって味覚が落ちている
気がする

陽性で自宅待機だけど、
咳がひどくなって不安...



※インフェクションコントロールドクター(英語: Infection Control Doctor, 略称: ICD) ... 感染症や感染制御、院内感染対策を専門に取り扱う医療従事者のことを指します。感染症専門医療の提供やアウトブレイク防止および発生時に対応する役割があります。

渡航外来ではさまざまなワクチン接種に対応しています

川口医師は日本渡航医学会(認定医療職)でもあります。海外赴任や留学ビザ申請のための健康診断や証明書の発行、渡航先が指定するワクチン接種などに対応しており、感染症情報もお伝えしながら患者さんが安心して渡航できるようにアドバイスを行っています。

【受付時間】土曜 14:15~17:15(要予約)



コロナ専用病棟

2020年8月
稼働

ワンフロアを完全封鎖

3階フロアを、一般の患者さんや他の職員とエリアを完全に分けて、コロナ専用病棟として運用。ナースステーションもフロア内に用意して、各部屋とのテレビ電話で即時対応するなど高齢の患者さんでも安心して過ごせるように整えました。容態が不安定な場合は高次医療機関への転院を調整したり、当院発熱外来を受診した患者さんで緊急性が高い場合はすぐに入院対応したりするなど、看取りも含めて幅広いケースに対して職員がワンチームとなって取り組んできました。

病棟内に専用ナースステーションを設置。患者さんの変化にすぐに対応できる体制です。



陰圧装置を設置したコロナ患者さんエリア。前室で個人防護具を着用し、患者さんの元へ。



お食事は温かいまま容器に詰めて、看護師が病室にお届けします。軟食などにも対応。

医療関連感染対策委員会

多職種チームで技術向上に取り組む

当院では医師をはじめとした「医療関連感染対策委員会」を毎月開催し、現場の問題点や最新情報の共有を図ると共に、愛知医科大学病院・名古屋記念病院・藤田医科大学病院と連携して職員の技術向上に取り組んでいます。昨年9月に行った「愛知医科大学病院合同ICITラウンド」では、愛知医科大学病院感染管理認定看護師らとコロナ専用病棟や発熱外来をラウンドし「病院全体で感染管理にしっかり取り組んでいる」「安心安全に職員が働ける環境が整備されている」といったコメントをいただきました。

合同ラウンドでは、患者さんを感染から守るさまざまな工夫についてご意見をいただきました。



高い水準の実例を多く知ることができ、刺激を受けました。



医療と介護の相・談・室

～Cure & Care～

【相談者】
50代女性

70代の父が肺癌で、余命は2ヶ月程度と言われました。自宅で生活するのは不安もあり、ホスピスへの入院がよいのか、迷っています。

Cure
～医療～

ホスピス入院のタイミングにはさまざまなケースがあります。お気軽にお問い合わせください

どこでどのように過ごしていくかは、ご本人やご家族の希望やご自宅の環境などによっても選択肢が変わります。

ご自宅での生活を希望される場合、どんなことが一番不安に思われるでしょうか。環境や体調管理についてはご自宅に介護ベッドを準備したり、訪問診療の先生や訪問看護の看護師さんに来てもらったりすることで在宅生活を続けられる場合もあります。ご自宅で過ごされる方が、ホスピス入院を決心されるタイミングは、痛みや呼吸の苦しさ、吐き気などの症状が強くなったときや、身体が思うように動か

ず、トイレや食事、入浴など日常生活の動作の一つ一つが大変になったときが多いように思います。

ホスピスへの入院は、ホスピス外来受診後に入院予約をお受けする流れとなります。入院手続きをすすめる前に、まずどんなところか見てみたいとご希望の方にはホスピス見学も行っています。当院のホスピスは20年以上の歴史があり、ご家族さまのケアも大切にしています。どうぞお気軽にお問い合わせください。

電話相談 ☎0561-73-9179
(地域連携室)

【受付時間】月～土曜 8:30～17:30

ホスピス外来受診
(完全予約制)ホスピス
入院

※コロナ感染拡大状況によっては見学を自粛している場合もありますのでご了承ください。

【相談者】
68歳女性

ずっと自宅で母の介護をしてきましたが、自分も歳をとり、そろそろ限界を感じています。しかし、施設入所には踏み切れません。何かいい方法はないでしょうか。

Care
～介護～

介護老人保健施設なら3カ月を目安に入所と在宅を繰り返すことができます

介護老人保健施設への入所はいかがでしょうか。特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、グループホームなどの高齢者施設が長期入所施設であるのに対し、介護老人保健施設は、おおむね3カ月～6カ月の入所期間でリハビリテーションを行う施設です。医師・看護・介護・リハビリ・栄養・ケアマネジャーなど多くの専門職が働いています。例えば愛泉館では、栄養管理、食事、入浴などの日常サービスに加えて、週1度の医師による診察、365日のリハビリテーションを行っており、医療と介護が揃った施設といえます。約3カ月間の入所生活を終えた後は、身体機能や認知機能を低下させることなく、再びご自宅での生活に戻っていただ

けます。また、介護老人保健施設はリピーター入所も可能です。

3カ月を目安に入所→在宅→

入所→在宅と繰り返すことができます。3カ月間の入所リハ

ビリはご家族にとってもリフレッシュ期間となり、多くの方にご利用いただいています。

老人保健施設 愛泉館
☎0561-74-1711【受付時間】
月～土曜 8:30～17:30

※病状や内服薬によって入所対象にならない方もいます

あなたと共に、
パートナーシップ宣言

わたしたちは、患者さん・ご利用者さんやご家族の診療・介護への参加を推進しています。

患者さん

ご利用者さん

ご家族

つたえあう

医療
スタッフ介護
スタッフ

相談員

他院から転院してきた患者さんが
「やっと家族に会えた」と
再会を喜ぶ姿も…。
(2020年5月から面会を再開)

継続中のホスピスケア

季節行事…ラウンジでの集合イベントは控え、イベント隊がお部屋を訪問

美容ボランティアによるヘアカット…お部屋ではなく1階専用スペースで実施

季節の花のお届け…ボランティアスタッフが非接触でお部屋にお届け

※1回の面会時間や時間帯の制限、面会者の年齢制限などで面会確保



● 37.5度以上または平熱より1度以上高い利用者はすぐに看護師が抗原検査を行います。

● 疑わしければ、病院の発熱外来を受診。これまでに陽性者が出てもクラスターにならないように徹底した管理を行ってきました。

● ショートステイを含めて入所される利用者全員に愛知国際病院で検査を行い、陰性を確認しています。

● デイケアでも送迎車に乗り込む際と利用中に2回の検温に協力いただいています。

● 職員についても、日々の体調管理はもちろん、定期的なスクリーニング検査で無症状者の洗い出しにも取り組んできました。

● 広げないこと

老人保健施設 愛泉館

持ち込まない、広げないを徹底した管理で

持ち込まないこと

愛泉会としてできること 医療と介護が連携して、地域のみなさんに寄り添い続けます。

こんな世界、
知ってますか？

日進市大学連携講座

名古屋学芸大学連携講座

“孤立”しない“孤独”の覚悟 ～人生100年時代の備えとは？～

【開催日】10月22日(オンライン受講)

「個を確立しながら他者との関係づくりも大切にできる」そんな社会に貢献できる愛泉会でありたい。人生会議の必要性を伝えるうえでも有用なお話でした。

訪問看護ステーションえまい
看護師 鈴木 功子

人生100年時代、変わるべきは個人であるという話がありました。自分も他者も大切にできる新しい共同体の必要性を強く感じ、もっと地域の声に耳を傾けたいと思いました。

地域連携室
看護師 岩本 佐美

愛泉会の職員が日進市大学連携講座に参加してみました！

参加者の声

申込受付中の講座(一部)

名城大学連携講座 生き物・環境と農業のお話

持続的な食糧づくりに関わる生き物と環境について

【開催日】2月25日、3月4日、3月11日(土曜 10:00～11:30)

【会場】市民会館2階会議室/900円

名古屋学芸大学連携講座 笑顔をつくって健康に!

簡単な顔の体操を紹介しながら、笑顔で健康づくり

【開催日】3月7日(火曜 10:00～11:30)

【会場】市民会館2階会議室/300円

参加費、申し込み締め切りなどの詳細はお問い合わせください

お問い合わせ

日進市生涯学習課 ☎0561-73-4191 【平日】8:30～17:15